

津麦ニュース 令和5年産 第2報

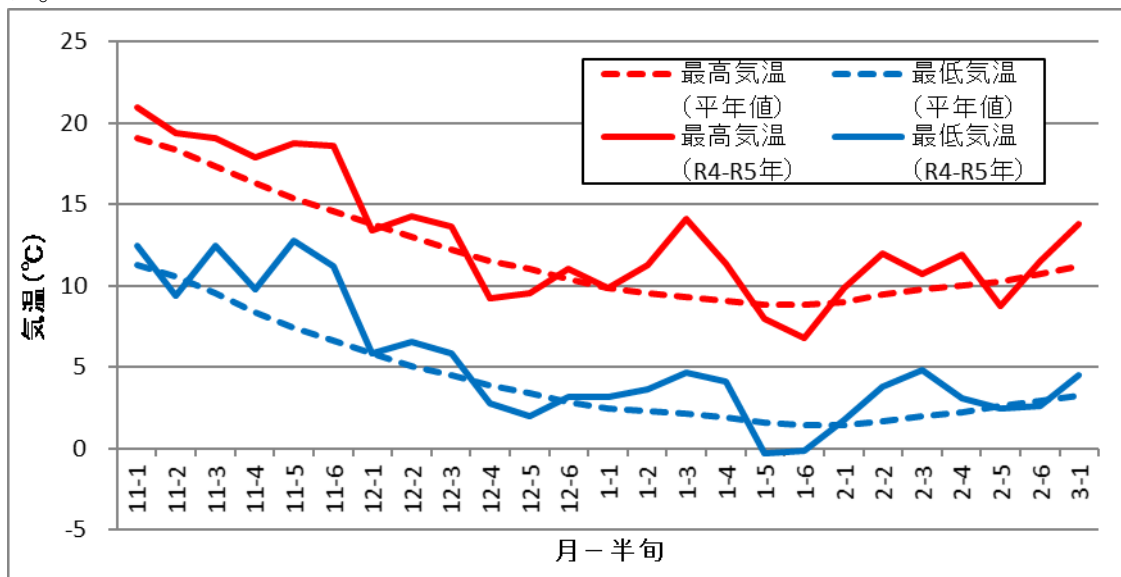
令和5年3月17日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

3月に入ってから気温上昇で生育がやや早くなっています。
生育状況にあわせて、適期に管理を行いましょう

<気象経過>

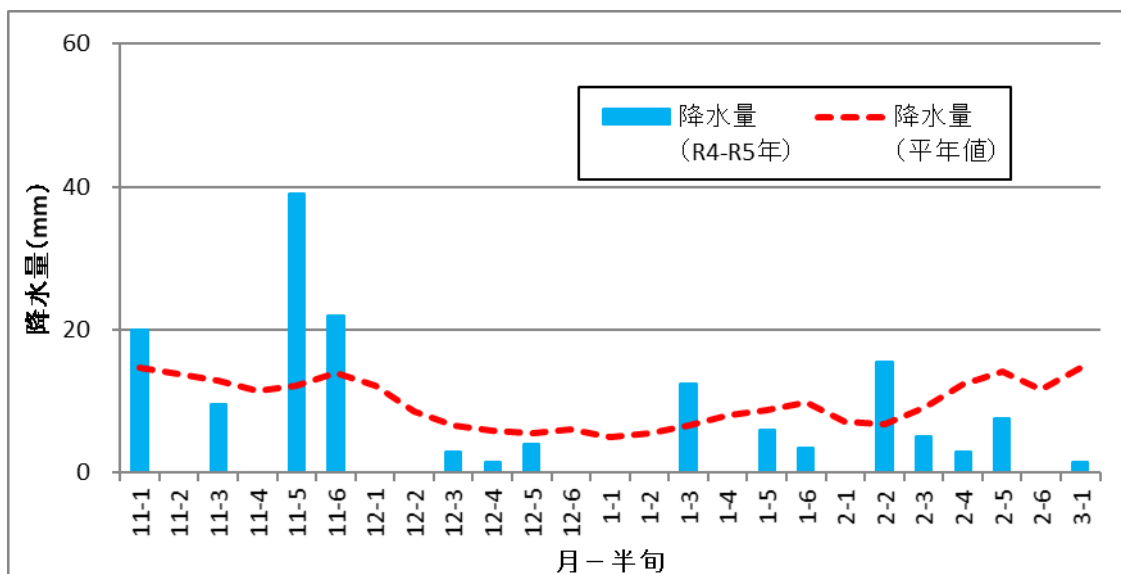
○気温

11月は平年よりも気温が大きく高く推移しました。12月第4半旬、1月第5半旬、2月第5半旬に気温が低下しましたが、生育期間は概ね平年よりも気温が高く経過しました。



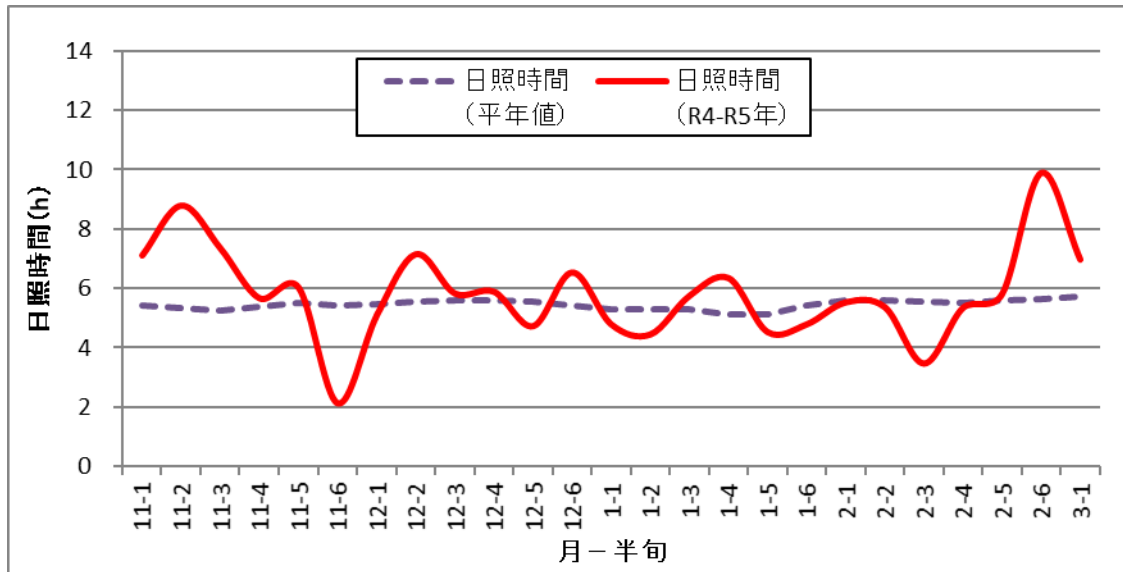
○降水量

11月下旬にまとまった降雨がありましたが、12月以降は降水量は少なく、合計降水量は、平年の63%となりました。



○日照時間

日照時間は期間を通じて平年並み～やや多く推移しており、11月第1半旬から3月第1半旬までの日照時間は平年比107%となっています。



<麦の状況>

○生育状況

11月半ば頃までの比較的早い時期に播種されたほ場では、12月下旬まで気温が高く推移したことから、初期に生育が進みました。1月上旬から気温が再び上昇し、1月下旬や2月下旬に気温が一時低下しましたが、生育期間を通じて気温が高く推移しており、生育は早めとなっています。

一方、12月以降に播種されたほ場では、降雨が少なく出芽に時間がかかったことや12月下旬に気温が低下したことから、11月上旬に播種したところと比較すると生育に差が見られます。

生育基準田の調査結果を昨年同時期と比較すると、葉齢は0.5～1葉程度早く、葉色は濃くなっています。昨年は11月上旬に播種したほ場では、生育がやや早めだ推移したため、5年産小麦はかなり生育が進んでいます。

○令和5年産(令和4年播)小麦生育基準田の状況

【令和5年2月17日現在】

令和5年産小麦						令和5.2.17時点	
調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数	
芸濃	11月15日	15.5	452.5	48.1	5.4	94	
殿村	11月10日	16.3	462.5	46.2	7.2	99	
白山	11月15日	17.9	476.7	51.7	6.4	94	

(参考)

令和4年産小麦						令和4.2.22時点	
調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数	
芸濃	11月10日	11.2	402.6	46.3	4.9	104	
殿村	11月8日	14.1	987.5	41.3	6.2	106	
白山	11月13日	17.6	578.0	52.6	5.8	101	

○小麦の生育予測

令和5年3月10日時点

品種	播種日	止葉抽出始期の予測日	出穂期の予測日	開花期の予測日
あやひかり	11月5日	3月15日	4月2日	4月16日
	11月15日	3月21日	4月7日	4月18日
	11月25日	3月26日	4月11日	4月20日

※メッシュ農業気象・麦生育予測システムver2.1による予測です。
津市平野部の気象データを使用しました。

◇気象1か月予報

名古屋地方気象台、3月9日発表の1か月予報では、気温は高いと予報されています。1週目から2週目の3月11日～24日の気温は高い見込みですが、3週目から4週目の3月25日から4月7日の気温は平年並み～高い見込みです。降水量は平年並みの見込みです。

<今後の対策>

○追肥

生育状況に応じて追肥を行い、収量を確保しましょう。

・体系施肥の場合

11月上中旬播種のところでは、間もなく(3月中旬頃)止葉抽出期となります。止葉抽出期に窒素成分で2～3kg/10aを目安に追肥を施用しましょう。11月下旬播種のところでは3月下旬～3月末頃が止葉抽出期になると予想されます。この頃を目安に追肥を行いましょう。

止葉抽出期の生育量の目安

草丈:44～47cm 茎数:570～600本/m² 葉色:40(SPAD)

草丈が50cmを超えて、かつ茎数が700本/m²以上と非常に多く、葉色が濃い場合は倒伏の危険があるので追肥を控えましょう。

・肥効調節型肥料(元肥一発肥料)を使っている場合

葉色が薄く(SPADで40未満)になり、肥料切れの兆候が見られる場合は止葉抽出期に窒素成分で2kg程度/10aを目安に追肥しましょう。

○赤かび病防除

今後の気象状況により、出穂期・開花期が前後しますが、上記の生育予測を参考に防除計画を立ててください。出穂期の7～10日後頃が開花期の目安ですが、出穂後の気温が低いと開花までの期間がこれより長くなります。必ず開花を確認してから防除を行いましょう。防除適期は開花始めから開花盛期となる約7日の間です。開花前や開花後では防除効果が劣ります。適期を逃さないように防除しましょう。

○排水口、ほ場の明きょ(周囲溝、排水溝)等の点検

1月以降、降雨があまりありませんでしたが、今後は降雨が多くなると思われます。今のうちに排水溝の点検、補修を行いましょう。また、降雨後の排水状況を確認し、滞水しているようであれば溝を掘りなおすなどの対応を行いましょう。